

ご存じ
ですか？

地域の身近な相談相手 「民生委員 児童委員」

民生委員・児童委員とは？

厚生労働大臣からの委嘱を受けて、社会福祉を推進するために活動している、地域で一番身近な相談・支援のボランティアです。生活に困っている人や高齢者・障害者・児童・ひとり親家庭などの相談相手として、さらに、住民と行政などを結ぶパイプ役として、幅広く活動しています。



主任児童委員とは？

民生委員の中から選任された委員で、育児、いじめ、不登校、児童虐待等の問題など、子どもや子育てに関する支援を専門に担当します。



民生委員・児童委員は、安心して暮らせる地域づくりに、必要不可欠な存在です！

1 | 見守り（訪問）

地域の一人暮らしの高齢者や障害がある人のいる世帯を定期的に訪問し、安否確認や生活上のさまざまな困り事、心配事などの相談に乗っています。



いつも気にかけてくれて
ありがとうね

民生委員・児童委員の主な活動

地域の人の声

困ったことがあれば、いつも相談しています。熱心に動いてくださりとても助かっています。また、サロンや健康づくりの体操などがある時には、チラシを持って来て声をかけてくれるので、参加することもあるんですよ。私の方が年齢は上ですが、頼れる“お母さん”のような存在ですね。

「ありがとう」の言葉と 人とのつながりが財産



府中市民生委員
児童委員協議会会長
藤原 洋子さん

47歳の時に、民生委員をやってみないと声がかかり、主人の応援と、「他者のために支援ができる人になりなさい」という学生時代の教えに後押しされ、引き受けました。それから20年以上、地域のひとと顔を合わせてお話しし、信頼関係を築くことを大切に活動しています。私の民生委員活動を一言で言うと、「持ちつ持たれつ」ですね。民生委員である私自身、地域の人に支えてもらっているんです。地道な活動で積み上げた、たくさんの人との出会いやつながりは、私の大きな財産であるとともに、この活動の醍醐味だと思います。

今は、どの地域も人間関係が希薄で、つながりが薄いです。悩みを抱えていても支援してくれる人がいない人、自分から助けを求めることができない人が孤立してしまわないよう、見守り、支援するのが、私たち民生委員。すぐ側の人とつながり、愛情を持って助け合うことができる「あったかいつながり」を広げていきたいです。



インタビューの
全編はコチラから

2 | つなぎ役

地域住民から寄せられた相談は、内容に応じて行政や地域包括支援センター、社会福祉協議会などの関係機関へつなぎ、必要な支援や福祉サービスが行き渡るようサポートしています。

府中市地域包括支援センター 保健師

民生委員さんだからこそ得られる情報を、総合相談窓口である地域包括支援センターへつなげてもらうことで、社会的課題に早めに気付きケアができています。誰も取り残さない社会を目指し、相互に連携を取りながら活動しています。



一部の地域では
こんな活動も

三世代をつなぐ防災活動 / 鶴岡町



3 | 地域活動

町内会などと連携して、学校や地域行事に参加するほか、地域の居場所づくりや仲間づくりを目的とした活動の運営支援などを行っています。

4 | 各種会議

定例会に参加し、委員同士の情報交換や地域の課題などに関して話し合いを行います。

もっと知ろう！ 民生委員・児童委員

Q 府中市には何人の
民生委員さんがいるの？

A 6つの地区民生委員児童委員協議会が設置されています。民生委員は、委員一人一人に担当する地域が定められています。府中市では、現在6地区114人、うち主任児童委員12人（各地区に2人ずつ）が活動しています。なお現在、定数に対して7枠が欠員となっています。

Q どんな相談に
乗ってもらえるの？

高齢者に
関すること

一人暮らしの不安、
介護サービス等の
相談、情報提供
など

子どもに
関すること

子育ての悩み
など

障害児・者に
関すること

障害福祉サービス
等の相談、情報提供
など

その他福祉に
関すること

・健康
・生活困窮 など

安心して暮らせる地域を 守り続けるために

高齢者や障害がある人、子育てや介護をしている人などが、周囲に相談できず孤立してしまうケースが近年増えています。住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていくためには、住民同士の身近な助け合い・支え合いが不可欠ですが、高齢化・人口減少などが進む中、それらも困難になりつつあります。民生委員・児童委員の活動を理解して、あなたも関わってみませんか？

